

■新居浜市長期総合計画策定市民会議全体会議事概要

業 務 名	新居浜市長期総合計画策定業務	
会 議 名	新居浜市長期総合計画策定市民会議全体会	
日 時	平成 22 年 8 月 11 日（水） 19：00～21：00	
場 所	文化センター別館 4階大会議室	
参 加 者	委員（40名）	
事務局	市（9名）	
議 事 内 容	<p>開会（副市長あいさつ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 事務局連絡事項（配布資料の確認） 2. 各部長、副部長の御紹介、策定の経過と今後の予定 3. 長期総合計画基本構想（中間案）について 4. 基本計画（中間案）について 	
質 疑 等	委員	<p>市民に示す場合に、第四次と第五次の長期総合計画の違いが分かるようなものがほしい。また、今後 10 年経ったらどういう新居浜市になるのかを具体的に示した概要版がほしい。</p> <p>環境の面から、この 10 年で何が一番変わったかということ、農地の線引きが廃止になったことである。今までは線引きがあったことで開発が抑えられていた。農地を残すことが自然環境に繋がるため、今後 10 年間の数値目標や線引きに替わるようなルールがほしい。</p> <p>基本構想 7 ページに「1960～2025 年の気温変化の観測結果と予測シミュレーション」のグラフを載せているが、せっかくだから新居浜市のデータも入れたらどうか。消防署で 50 年分のデータがあると思うので、日本のデータと比較したグラフを載せてほしい。</p>
	事務局	<p>基本計画では施策ごとに見開きで分かりやすくするという取り組みをしている。また、概要版については、これから骨子がまとまったら、今年度策定し、市民に配布したいと考えている。</p> <p>農地の線引きが廃止となったことによる新たなルールづくりについて、大きな意味で、基本構想 28 ページに都市像をどう創っていくかということ、土地利用の視点から示している。その中で、線引きを廃止したことによる分散化というのが懸念されている。JR 新居浜駅の周辺から北側一帯を核とする都市軸・都市拠点を集約するとともに、それぞれの生活拠点の中で、地域と連携しながら、持続可能なまちづくりの実現を目指している。基本計画の中にも、適正な土地利用の推進</p>

	<p>についての取組方針を載せている。</p> <p>基本構想 7 ページのグラフに新居浜市のデータを載せることについては、データ等を確認し再検討する。</p>
委員	<p>基本構想 12 ページに「望ましい新居浜市の都市イメージについて」というグラフの注釈の中に「高校生の提言では、将来を視点とした産業振興や都市基盤に関する提言が多くなっています。」とあるが、現在の高校生が希望を持てるようなまちにしていくべきであって、かつて“あかがねのまち”があったという歴史の 1 ページだけで終わってしまわないように、大人も子どもも新居浜市に住んでよかったと実感してもらえるように取り組んでいただきたい。例えば、住友が減少した時のことを考えて、産業をどうするかという視点も入れ、若者（高校生）に分かりやすい魅力ある長期総合計画にしていいただきたい。優先順位をつけるのは難しいかもしれないが、あくまで基盤がものづくりということを、“あかがねのまち”ということを念頭においた長期総合計画にしていだけたらありがたい。</p> <p>基本構想を基に詳細な計画を策定すると思うが、その時に具体的に 5 W 1 H でどうするかを噛み砕くと、若者が見ても大変分かりやすいものになると思う。</p>
委員	<p>基本計画 50 ページ「発達に問題のある親子…」と基本計画 72 ページ「障がいや発達課題のある子ども…」という表現があるが、今は、一人一人の違いを個性だと認めようという世の中になりつつあるのに、こういう表現が公共の文書に書かれているのは悲しい。</p> <p>先ほど環境の問題・農地の問題・公共事業との共生という意見が出たが、私が住んでいる大生院で、何年か前、大雨の時に、高速道路のところから雨水が漏れて、近所で相当な被害があった。その後の台風では亡くなった人もいる。高速道路が出来たために、木が伐採され、土の保水力が無くなり水が流れていると思う。大生院に長く住んでいる人に聞いても、60 年間こういうことはなかったと言っていた。また、猪や猿が現れて大変なことになっており、収穫時期には西瓜や南瓜が盗られたと近所の皆が嘆いていた。高速道路が出来たために、猪も猿も食べ物が無くなったからではないかと思う。</p> <p>また、11 号バイパスについては、造る前になぜ意見を聞いてくれなかったのか、自転車道や歩道の整備をしたらよかったと思っている。</p>

事務局	<p>基本計画 50 ページ「発達に問題のある親子…」や基本計画 72 ページ「障がいや発達課題のある子ども…」という表現については、他の公的文書でもこういった表現をしている。ただし、言葉は統一しておくべきなので、「問題」を「課題」に変更する。</p> <p>自転車道や歩行者道の整備については、快適交流のフィールドの中で、取り組んでいきたいと考えている。</p>
委員	<p>基本計画 70 ページの取組方針②の中には、外国人で日本語が話せない子どもの対応について書かれていないが、どう考えているのか。</p> <p>基本計画 96 ページのボランティア日本語教師養成講座受講者数を 11 人から 20 人に増やすという活動指標があるがこれからのことを考えるとボランティアに頼るといいことなのか。</p>
事務局	<p>外国人の子どもの教育について、基本計画 70 ページの取組方針②の中の「社会変化に対応した多様な教育活動への取組み」という表現に含んでいると考えていただきたい。</p> <p>ボランティア日本語教師の人数の問題等については、成果指標としているようにボランティア日本語教師数を増やしていきたいということでは十分かと思っている。ただし、ボランティアの方の努力だけに頼るのではなく、行政としても、対応窓口の設置や対応ができる職員の採用を検討するなどの取り組みを進めていきたいと考えている。</p>
委員	<p>基本計画 20 ページに住宅用太陽光発電施設に対する補助戸数という活動指標がある。新エネルギーというと太陽光発電がよく出てくるが、エネルギー的に、太陽光発電は太陽熱利用と比べるとエネルギー効率がよい。太陽熱はお風呂の給湯器に使われていて、このシステムはエネルギー的には既に確立された技術である。新居浜市という瀬戸内海沿岸で太陽に恵まれた地域だからこそ、太陽熱給湯器をもっと普及させるべきだと思う。新居浜市から全国へ発信するという流れをつくるのが、日本全体の省エネにつながると思う。費用的にも太陽光発電と比べ安価であるためこれからは太陽熱利用を普及させるということを 10 年計画に載せていただきたい。</p>
事務局	<p>専門部会の議論の中では話が出なかったが、指標としては新居浜市として力を入れて取り組んでいる太陽光発電の補助ということ載せている。太陽熱利用については、太陽光発電</p>

	以外のエネルギーの活用ということで検討していきたいと思う。ただし、この基本計画の中に組み込むのは難しいかと思う。
議 事 内 容	3. その他（策定体制とスケジュール） 閉会